

おはようございます。25校81名の選手の皆さん、第37回大阪府高等学校囲碁新人大会個人戦に参加してくれて、ありがとうございます。

本日は、お忙しい中、囲碁インストラクター 山本浩世様にお越しいただいております。誠にありがとうございます。この後の指導碁やご講義、どうぞ、よろしく願いいたします。

今回も、会場を提供していただきました大阪商業大学 谷岡一郎学長様はじめ関係者の皆様、そしてお休みの中、本大会の運営、子どもたちの引率、並びに平素より囲碁の普及とご指導にご尽力いただいております役員及び、各校顧問の先生方に改めてお礼申し上げます。

また今回も、株式会社センコーグループホールディングス様より、素晴らしいメダルをご提供いただきました。ありがとうございます。余談ですが、私は毎朝、勤務しております高校の門のところ立って、生徒たちの登校の様子を見ております。門の前には、横断歩道があるのですが、ほとんどの車は、生徒たちが横断しようとしているのに、なかなか一旦停止してくれない。でも、センコーグループのトラックは、毎朝、必ず一旦停止して、生徒の横断を助けてくださっています。さすが、センコーグループの運転手さんはちがうなあと、毎朝、感心しております。

さて、囲碁界における、皆さんのような若い棋士の活躍には、最近特に、目覚ましいものがあります。10月9日に、芝野虎丸（しばのとらまる）当時八段が、名人戦挑戦手合七番勝負で、張名人に4勝1敗で勝利し、七大タイトル史上最年少での名人位を獲得しました。また10月24日には、藤沢里菜（ふじさわりな）女流四冠が、第45期名人戦挑戦者決定リーグ戦の出場をかけた最終予選準決勝で、黒番中押し勝ちし、女性初のリーグ入りまであと1勝に迫っています。決勝の相手は、これも若手の強豪、一力遼（いちりきりょう）八段。11月18日に、決勝戦が行われます。とても楽しみです。

さあ、皆さんも、今日もいつものように、「勝って驕らず、負けて腐らず。私と打ってくれてありがとう。」対局者への感謝の気持ち、そして、本大会を支えてくださっている多くの人への感謝の気持ちも忘れずに、対局に臨んでください。また、本大会は、12月21日、22日に開催される第8回近畿高等学校囲碁選手権大会大阪府予選も兼ねています。近畿大会出場をめざすもよし、多くの人との対局で、親睦を深めるもよし。段位、級位の認定を受けるもよし、指導碁をお願いして、棋力の向上を図るもよし。今日も、囲碁三昧の一日としましょう。皆さんの健闘を祈っています。